



学習の森

だより



No. 36

『安中の『○○○万』』

渡辺多満の生涯

学習の森文化財係

渡辺多満(わたなべ・たま)の名前を聞いてすぐには、どのような人物か答えられる人は本市には、少ないと思います。多満は、安政5年(1858)松井田町松井田の商家大河原家に父太右衛門、母いわ(安中の中村家より嫁ぐ)の次女として生まれました。大河原家は、塩物問屋を営んでおり、商売の關係で江戸の豪商明石家(渡辺家)と交流があり太右衛門の兄新次郎は明石家の当主に見込まれて入り婿となり、八代目渡辺治右衛門を名乗りました。明治5年15才のとき多満はこの伯父に請われていったん東京の渡辺家(明石家)の養女となりますが翌年従兄にあたる渡辺福三郎(昭和の金融恐慌の引き金となった渡辺銀行を経営した東京の渡辺家から分家した横浜の渡辺家を継ぐ)と結婚しました。横浜の代表的実業家である夫を支える一方で慈善事業に力を注ぎ、横浜婦人慈善病院に伝染病患者収容所を寄贈したのをはじめ、閉園移転を迫られた孤児院(暁星学園横浜分園)が再出発する際に助力、のち院長に就任。明治41年、日本初の女子夜学校、横浜女子商業補習



多満と夫福三郎

(鈴木隆著「渡辺多満の生涯」より転載)

学校(現在の横浜山手女子学園)の設立に関わり、数年後廃校の危機に際して設立者代表に就任するなど明治期における横浜の社会事業の基礎を築きました。

また、なつかしい故郷松井田の社寺には様々な寄進をしました。昭和33年横浜開港百周年の記念式典で開港功労者として顕彰された故人31人中唯一の女性でもありました。このように多くの業績を残した多満でしたが、なぜ人々に知られることが少ないのでしょうか?それは、多満は売名を嫌い陰徳(隠れて善行を行うこと)を心がけていたためでした。この度多満の陰徳の精神に共感した横浜市の鈴木隆氏が20年以上もの歳月をかけ丹念に資料を収集し伝記「渡辺多満の生涯」を出版されその業績が明らかとなりました。



平成20年度「文化財愛護ポスター」
優秀作品(敬称略)
稲塚崇人
(松井田東中1年)

生涯学習施設 竹細工教室

「学習の森」生涯学習施設では、竹細工教室を開催します。奮ってご参加ください。

日時▼4月19・26日、5月10・17・31日 各回とも日曜日
午前10時～正午
場所▼「学習の森」生涯学習施設 創作工房(4)

講師▼磯貝 晴之 先生(竹の会代表)

定員▼12名

※定員を超えた場合は抽選し、当選者のみに通知

内容▼写真のような竹細工の作成

(蛇籠形花籠・亀の子しよぎ)

参加費▼無料

※材料費は自己負担

申込み・問合せ▼4月12日(日)

までに、電話または「学習の森」ふるさと学習館受付へ直接お申し込みください。

ふるさと学習館 春季・夏季企画展 「碓氷川流域の古墳文化」

期間▼4月29日(祝)～8月30日(日)

観覧料▼一般100円・団体(20人以上)80円・高校生以下無料

※常設展示も一緒に観覧できます

講演会▼5月・6月に各1回開催

※詳細は次号に掲載します



問合せ▶
安中市 学習の森
☎ 382-7622
FAX 382-7623
〒 379-0123
安中市上間仁田951番地
furusato@des.city.annaka.gunma.jp
http://www.city.annaka.gunma.jp/gakushuunomori/